THALES
Building a future we can all trust

タレス ジャパン

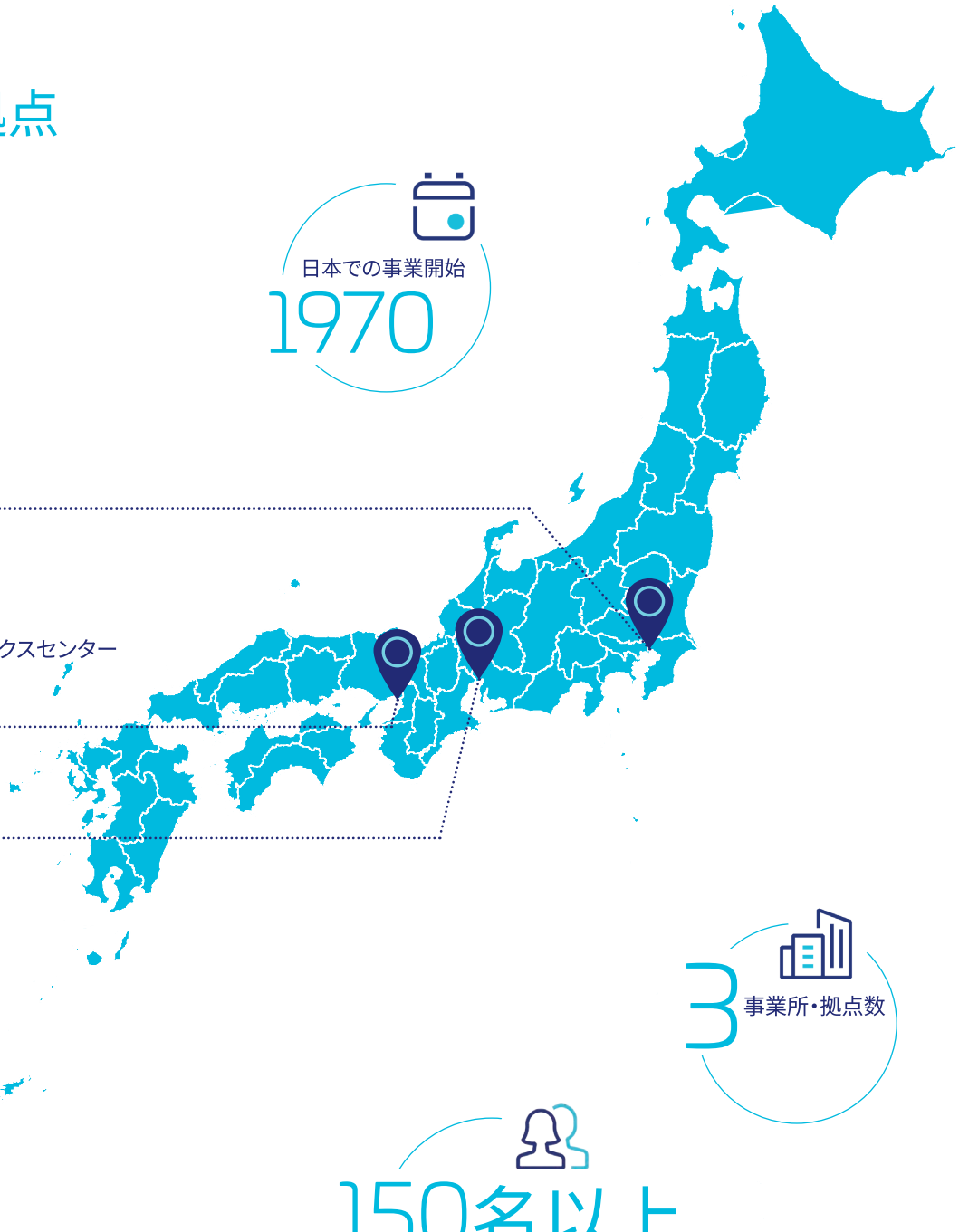
ファクトシート



© 2026 Thales 無断転載禁止。著作権 AdobeStock_ / kurosuke

事業所・拠点

日本での事業開始
1970



東京（赤坂、八王子）
- 国内本社
- 営業及びプロジェクト管理部門
- サイバー＆デジタル事業部
- サイバー＆デジタル・ロジスティクスセンター

大阪
- サイバー＆デジタル事業部

名古屋
- サイバー＆デジタル事業部

3
事業所・拠点数

150名以上
従業員数

ご存知でしたか?

- タレスは光学機器やレーダー、ソナーなどを通じて自衛隊を支援し、日本の領土防衛と安全確保に貢献しています。
- さらに、タレスのサイバーセキュリティおよびデジタル・アイデンティティソリューションは、公共分野をはじめ、金融・通信・ハイテク産業など、日本国内の幅広い分野で活用されています。
- 航空分野では、日本の大手キャリアである日本航空株式会社（JAL）の機内において、タレスの機内エンターテインメント（IFE）ソリューションが採用されています。
- 加えて、アジア最大級の衛星通信事業者であるスカパーJSAT株式会社とは、わずか1年足らずの間に、ソフトウェア衛星「JSAT-31」と静止軌道通信衛星「JSAT-32」の製造に関する2件の契約を締結しました。

タレスについて

タレスは、防衛・航空宇宙・サイバー&デジタルの3つの事業分野に特化した、先端技術のグローバルリーダーです。世界をより安全に、環境にやさしく、そしてより包摂的（インクルーシブ）にすることを目指し、多彩な製品やソリューションを開発しています。グループ全体では、AI、サイバーセキュリティ、量子技術、クラウド、6Gといった重点分野を中心に、年間40億ユーロ以上を研究開発に投資しています。タレスは世界68か国に拠点を持ち、8万3,000人を超える従業員を擁するグローバル企業です。2024年のグループ売上高は206億ユーロに達しました。

タレスジャパンについて

タレスは1970年に日本での事業を開始し、当初は自衛隊向けの防衛・安全保障分野を中心にソリューションを提供してきました。

その後、日本における事業領域は着実に拡大し、防衛・航空宇宙をはじめ、サイバーセキュリティやデジタル・アイデンティティ、宇宙、医療、学術・理科学分野など、多様な分野で日本のニーズに応えています。

タレス・ジャパンは東京を拠点に約150名の従業員を擁し、三菱重工業株式会社、株式会社IHI、株式会社SkyDrive、理化学研究所など、日本を代表する産業・研究機関との緊密なパートナーシップを軸に事業を展開しています。

幅広い産業分野で技術革新を推進し、日本のローカルエコシステムの中で信頼されるパートナーとして、確かな存在感を築いています。さらに、高度にローカライズされた人材体制により、デジタル・アイデンティティ及びセキュリティ、医療、航空分野など、多様な市場を安定的に支えています。



© 2026 Thales 無断転載禁止。著作権：Alenia Space_E.Briot

防衛

多様化・高度化する脅威に対応するため、タレスは陸・海・空の各領域において、先進的な技術、ソリューション、サービスを通じて、各国およびその軍隊が「適切な判断を、適切なタイミングで」下せるよう支援しています。サイバーセキュリティからAIに至るまで、タレスは継続的な技術革新に取り組み、部隊が優位に行動できる環境を支えています。

日本においては、タレスは自衛隊の長年にわたるパートナーとして、作戦能力の向上に寄与するさまざまなソリューションを提供してきました。マルチ・ドメスティック戦略のもと、タレスは国内産業や日本の主要防衛関連企業との強固な協業関係を築き、国際防衛輸出市場への取り組みを支援しています。

タレスは、陸上自衛隊向けに装甲車両「ブッシュマスター」を納入しました。これらの車両はすべて兵員輸送型で、オーストラリア・ベンディゴにあるタレスの製造拠点で生産されています。

航空分野では、航空電子機器および通信システム、軍用航空管制ソリューションに加え、航空自衛隊のF-4戦闘機向けに電子戦（EW）ポッドを提供しています。

また、海上自衛隊に対しては、これまでに水上艦艇、潜水艦、航空機向けの光学機器、レーダー、ソナー技術を提供してきました。こうした長年にわたる継続的な支援と実績は、海上自衛隊からも高く評価されています。

2020年には、タレスと三菱重工業株式会社（MHI）が、高周波合成開口ソナー（HFSAS）「SAMDIS」を三菱重工業株式会社の無人潜水機「OZZ-5（UUV）」に搭載するための契約を締結しました。

さらに2021年には、日仏防衛協力枠組みのもと、フランスと日本の間で、機雷対策用の自律型無人潜水機（AUV）に搭載する二周波ソナーデモンストレーターの共同開発に関する協力協定が締結されました。本プロジェクトは、タレスと三菱重工業株式会社が共同で開発を進めています。



© 2026 Thales. 無断転載禁止。

民間航空

タレスは、航空電子機器、機内システム、航空交通管理、デジタル・アイデンティティ分野における主要企業として、AIやサイバーセキュリティといった最先端技術を活かし、持続可能でコネクテッドな次世代航空の実現に取り組んでいます。空港および機内での快適な旅客体験の提供、運航オペレーションの最適化、さらには新しいタイプの航空機を安全に空域へ統合することで、航空の未来を支えています。

タレスは、アジア太平洋地域の世界的に著名な航空会社に向けて、航空電子機器および機内エンターテインメント（IFE）システムを提供する、航空宇宙分野の重要なパートナーとして高く評価されています。

日本航空株式会社のボーイング787型機には、Androidベースのタレス製「AVANT Thales」IFEシステムが搭載されています。さらに、タレスのIFEシステムは、国内線・国際線の両方を運航するJALのボーイング767型機および777型機にも導入されています。

タレスは、海上保安庁の捜索救難用シコルスキーS-76Dヘリコプター向けに、「TopDeck」航空電子機器スイートを提供しています。

2023年には、日本のeVTOL（電動垂直離着陸機）メーカーである株式会社SkyDriveが、3人乗り・ゼロエミッションのeVTOL機向け飛行制御用航空電子機器「FlytRise」の提供企業としてタレスを選定しました。この取り組みの大きな節目として、SkyDrive機の初のデモフライトが、日本の大阪で開催された2025年大阪・関西万博において成功裏に実施されました。



© 2026 Thales. 無断転載禁止。著作権：Adobe Stock_Markus Mainka

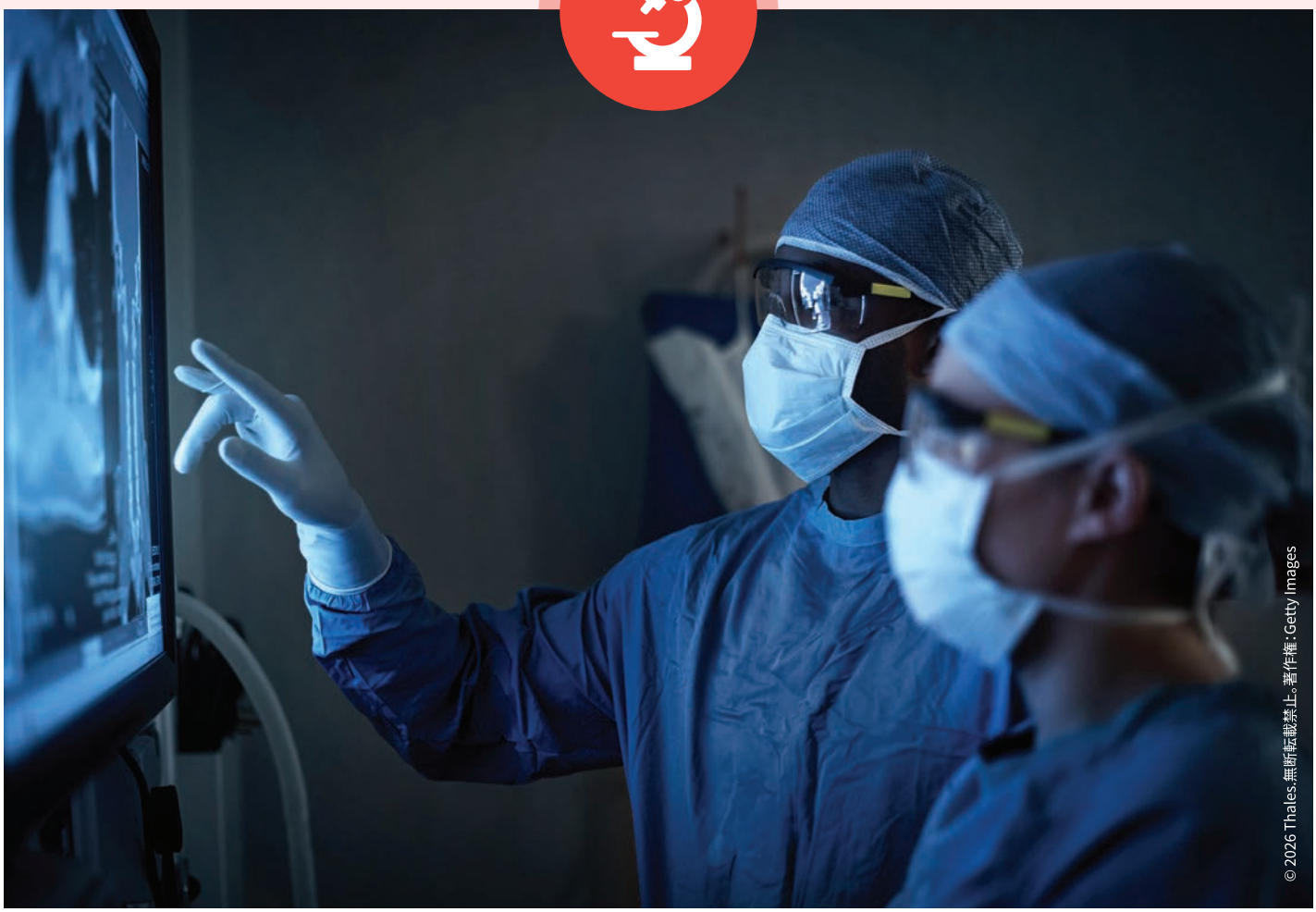
理科学・医療産業

タレスは、「マイクロ波・イメージング・サブシステム」事業を通じて、科学および産業用途向けに各種サブシステムやコンポーネントを提供しています。

日本では、医療分野向けのフラットパネルディテクタおよびイメージングソリューションに加え、理科学・宇宙分野向けの各種チューブ製品を供給しています。

このほか、シンクロトロン施設や天文観測など、幅広い用途に対応するクライオクーラーや、複雑な光学部品・システムを収容する特殊光学製品も展開しています。また、核融合、粒子加速器、原子核物理分野向けの高周波（RF）コンポーネントや、大型科学装置向けのサブシステムも提供しています。

マイクロ波管およびイメージインテンシファイアの分野で60年以上の実績を持つタレスは、科学研究、非破壊検査（NDT）を提供しています。



© 2026 Thales. 無断転載禁止。著作権：Getty Images

サイバー＆デジタル

デジタル接続とサイバー攻撃が増え続ける時代において、タレスは、人々と彼らが信頼して利用するデジタルサービスの間に「信頼の輪」を生み出す製品・サービスを提供しています。世界180か国で、主要企業や政府機関が、個人やモノのアイデンティティ、個人情報・機密データ、そして最重要アプリケーションの保護にタレスを信頼しています。タレスのサイバーセキュリティおよびデジタル・アイデンティティ技術は、より持続可能なデジタル・トランスフォーメーションを実現するために設計されています。

サイバーセキュリティ製品：
今日の企業は、重要な意思決定を行う上で、クラウド、データ、ソフトウェアへの依存をますます強めています。だからこそ、多くの著名ブランドや大規模組織が、最も機密性の高い情報やソフトウェアへのアクセスを保護するためにタレスを選んでいます。タレスのソリューションは、クラウドへの安全な移行を支援し、確かなコンプライアンス対応を可能にするとともに、デバイスやサービスに組み込まれたソフトウェアの価値を最大化します。さらにタレスは、高度なソフトウェア・マネタイズ（収益化）ソリューションを通じて、ソフトウェアベンダーやデバイスメーカーの収益性やビジネスモデルの最適化を支援しています。これにより柔軟なライセンス管理、利用状況の可視化、不正使用への対策を可能にします。タレスはまた、人工知能（AI）、耐量子計算（ポスト量子暗号）、デジタル主権といった、新たに浮上する課題や脅威への対応でも顧客を支えています。

モビリティコネクティビティ・ソリューション：
タレスは、コネクティビティ管理ソリューションを通じて、日本のモバイル通信事業者のデジタル変革を支援しています。SIMおよびeSIMプロファイルによる通信のセキュア化に加え、SIMのOTA（Over-The-Air）管理によって、通信事業者が契約管理をスムーズに行えるようにしています。タレスのソリューションは、自動車業界やIoTデバイス向けに、導入場所やライフサイクルの段階を問わず、安全なローカル接続環境を実現します。

決済サービス：
タレスは、Thales D1 Platform および革新的なカード技術の普及を積極的に推進し、ユーザー体験の高度化と近代化を進めています。これらの先進技術は、進化し続ける消費者ニーズに応えるため、シームレスで安全かつ効率的な決済サービスを提供するよう設計されています。

Thales D1 プラットフォーム：最新のカード発行プラットフォーム
発行者はリアルタイムで最先端のカードと決済体験を設計でき、最新のカード発行プログラムを迅速に開始できます。銀行は新しいユースケースを開拓し、アプリ内で安全かつ即時、モバイル優先のカード体験を提供できます。カードの注文や暗証番号設定、配送状況の追跡、即時有効化まで、すべてがひとつの統合プラットフォームで行えます。モバイル決済を好むユーザーは、カードを簡単にデジタルウォレットに追加できます。オンライン取引のセキュリティを高めるため、使い捨てのバーチャルカードも利用可能です。

イノベーティブカード：環境配慮素材やメタルカードデザイン
タレスの革新的なカードラインは、環境に配慮した素材や高級感のあるメタルカードを採用しており、持続可能性とプレミアム志向のニーズに応えています。これらのカードは、環境負荷を低減し、より責任ある決済ソリューションを推進するタレスの姿勢を示すとともに、贅沢で洗練されたデザインを求めるユーザーにも訴求します。タレスはD1プラットフォームと革新的なカードの導入に積極的に取り組み、デジタル決済サービスにおけるイノベーションと卓越したユーザー体験の提供を強く意識しています。

身分認証・生体認証ソリューション：
タレスは、民間および法執行向けに、顔認証、指紋認証、虹彩認証などの生体認証技術ソリューションを提供しています。これには、政府および民間向けの文書リーダー製品や、政府専用の安全なコンポーネントも含まれます。タレスの文書リーダーは、主要空港で新しい日本のパスポート確認に、またホテルでは訪日観光客向けにすでに導入されています。



© 2026 Thales. 無断転載禁止。著作権：123RF

宇宙

タレス・アレニア・スペースは、政府機関、企業、衛星事業者向けに、通信、衛星測位、地球観測、理科学、宇宙探査向けの衛星、地上セグメント、エンドツーエンドシステムなど、多岐にわたる宇宙ソリューションを提供しています。

タレスは、日本の宇宙産業における重要なパートナーとして、主要な日本の宇宙プロジェクトに最先端の搭載機器、システム、地上システムを提供しています。これには、航空管制用の航空ミッションペイロードシステム、衛星地上局、テレメトリ・追跡・指令（TTC）システムが含まれます。

2024年、アジア最大の衛星運用事業者であるスカパーJSAT株式会社は、タレス・アレニア・スペースに対し、新世代ソフトウェア衛星「JSAT-31」の建造契約を発注しました。これはタレス・アレニア・スペースの「Space INSPIRE（INstant SPace In-orbit REconfiguration）」プラットフォームを使用した衛星です。JSAT-31は、日本、東南アジア、オーストラリア、ニュージーランド、太平洋諸島で高速ブロードバンドサービスを提供します。これは、スカパーJSAT株式会社史上、最大規模の容量を誇る衛星となります。

2025年、スカパーJSAT株式会社は、静止通信衛星「JSAT-32」の建造を再びタレス・アレニア・スペースに委託しました。JSAT-32は、日本および周辺海域をカバーし、移動体向けに新たに設計されたスポットビームを搭載します。JSAT-32は、日本国内で通信・配信サービスを支える既存のスカパーJSAT衛星の将来的な代替となります。



© 2026 Thales. 無断転載禁止。著作権：thales-alenia-space_E.Briot

サステナビリティへの取り組み

タレス・ジャパンは、タレスグループのグローバルESG目標に沿って、安全で環境に配慮した、より包摂的（インクルーシブ）な社会への貢献に取り組んでいます。

タレスジャパン/タレスDISジャパンは、海岸の清掃や環境教育イベント、児童養護施設の教育支援プログラム等、積極的に地域社会との交流を図っています。またタレスグループでは、従業員によるボランティア活動にとどまらず、国際女性デー等の世界的なイニシアチブに全社を挙げて参加するなど、包括性（インクルージョン）と持続可能性（サステナビリティ）への取り組みを推進しています。

タレスのグローバルな使命とESGビジョンに沿って、タレス・ジャパンは粘り強く、献身的に取り組み、長期的な持続可能な成長を推進し、誰もが信頼できる未来の構築を目指しています。



© 2026 Thales. 無断転載禁止。著作権：AdobeStock_lovelyday12

地域パートナーシップ

タレスは、日本の未来を形作り、現地での存在を強化することへコミットしている証として、日本の主要な産業プレーヤーと戦略的パートナーシップを築いています。

タレスは日本国内で、大手企業から中小企業まで500社以上のサプライヤーと連携・協業しています。パートナーとともに、理科学、セキュリティ、医療、宇宙、そしてさまざまな産業分野の幅広いニーズに対応しています。

防衛分野では、タレスは三菱重工業株式会社（MHI）をはじめとする主要な日本企業とコンソーシアムを組み、国内外の市場に対応しています。



© 2026 Thales. 無断転載禁止。著作権：AdobeStock_metamorworks

付録/過去の実績

防衛

- 2020年、タレスは三菱重工業株式会社（MHI）と契約を締結し、OZZ-5無人潜水艇（UUV）向けに高周波合成開口ソナー（HFSAS SAMDIS）を提供しました。
- 2016年、タレスは陸上自衛隊（JGSDF）から、Mode 5対応のIFF（識別友軍・敵機）応答装置の納入契約を受注しました。

民間航空

- 2017年、日本航空株式会社のボーイング787-9向けにAVANT In-Flight Entertainment（IFE）システムを導入しました。
- 2016年、日本航空株式会社の初号機ボーイング777-200向けにAVANT IFEシステムの改修導入サービスを提供しました。

研究・技術（R&T）とイノベーション

- 2025年、SkyDrive SD-05の大阪・関西万博での初飛行を成功裏に実施。サプライヤーとの強力なパートナーシップによる成果です。

サイバー & デジタル

- 2021年、日本のテクノロジースタートアップ「株式会社EVERING」と初のパートナーシップを締結しました。
- タレスは大日本印刷株式会社と協業しています。

宇宙

- 2025年、スカパーJSAT株式会社はタレスに「JSAT-32」の建造を委託しました。

THALES

Building a future we can all trust

本社：
タレスジャパン株式会社
タレスDISジャパン株式会社
〒107-0052
東京都港区赤坂2-17-7
赤坂溜池タワー8F

電話番号：
03-6234-8100（タレスジャパン株式会社）
03-6744-8900（タレスDISジャパン株式会社）

八王子フルフィルメントセンター：
〒192-0081
東京都八王子市横山町6-9
丸太屋ビル5F
電話番号：042-660-7191

メールアドレス：thales.japan@thalesgroup.com

thalesgroup.com

© 2026 Thales.無断転載禁止。